

東アジア文化研究の 新思考

10/14(土) 15(日)

会場: 二松學舎大学 中洲記念講堂

シンポジウムI 実心実学思想と 国民文化の形成

荻生徂徠、石田梅岩、三浦梅園、そして朝鮮の李星湖、洪大容、中国の王船山など、近代を用意した思想でもなく、封建思想という視点でもない、実心(仁や誠)を重んじ、利用厚生に徹した実心実学という新しい視点を東アジア近世思想に提示する。

14日	10:00	記念講演	近世実心実学の系譜	源了圓	
	12:30	基調講演	葛荣普(中国)	宗載邵(韓国)	小川晴久(日本)
	13:30	研究発表			
	17:00	研究発表			

15日	10:00	研究発表
	17:00	

発表者 (日本) 山崎益吉 小島康敬 古藤友子 別所興一 森野栄一
 (中国) 李志軍 王俊山 魏宗禹 張踐
 (韓国) 李光虎 沈慶昊 韓春姬 張炳漢

共催: 日本東アジア美学研究会、二松學舎大学21世紀COEプログラム「日本漢文学研究の世界的拠点の構築」

協賛: 韓国美学研究会・中国美学研究会

10/28(土) 会場: 二松學舎大学 403教室

シンポジウムII 戦間・戦後の大衆文化と「日本」

大衆文化は本来、国際的普遍性と個別社会の独自性の二つの側面を内包している。1945年の敗戦を境とする日本社会の自画像と他者像の転変を。日本の大衆文化はどのように表象してきたか、21世紀に入った現在をも視野に捉えて検証する。

13:00~14:00 消費、メディア、女性: モダンガールの衝撃 バーバラ・佐藤(成蹊大学)
 14:30~15:50 戦後の歌謡曲の世界観: 美空ひばりと笠置シズ子を中心に マイケル・ボーダッシュ(UCLA)
 16:20~17:40 日本の大衆文化はクールか: 「宝塚」から鉄腕アトムまで 竹村民郎(大阪産業大学)



二松學舎大学

東アジア学術総合研究所

TEL:03-3261-1354

*会場には駐車場がありません。お車でのご来場はご遠慮ください。